

振興会だより

令和8年1月22日発行
振興会だより
編集 羽田地区振興会

令和8年地区新年交賀会開催

令和8年1月10日(土) 於プラザイン水沢

1月10日(土)午後4時から、プラザイン水沢において、羽田地区振興会が主催する令和8年羽田地区新年交賀会が開催されました。その席上、振興会表彰として、羽田小学校4年の岩渕湊さん(北鶴ノ木行政区、「第24回インスタントラーメン小学生レシピコンクール全国大会入賞」※裏面をお読みください)が「さわやか賞」を、阿部祐士さん(田茂山行政区、「第31回ジャパンカップビーチボール選手権あいち大会」優勝)が「栄誉賞」を、今野桃果さん(外浦行政区、「東京2025デフリンピック」陸上4×100mリレー6位入賞)が「特別表彰」を、そして、外浦自

治会「外浦をキレイにし隊」の皆さん(多年にわたるボランティアとしての道路愛護活動)が「団体表彰」を、それぞれ受賞しました。

また、還暦(4名出席)を代表して、及川浩正さん(田茂山行政区)が、年頭所感を述べられ、昨年10月振興会に50万円を寄付していただいた羽田地区令和3年度厄年連「巳雄神」(5名出席)を代表して、佐藤良和さん(羽田中央行政区)からあいさつをいただきました。

さらに、令和7年度奥州市勢功労者に選ばれた佐藤良一さん(森行政区、地方自治功労)、朝日田恭博さん(東町行政区、民生功労)のお二方を、出席者の皆さんでお祝いし、あいさつをいただきました。余興で



は、朝日田恭博さんによる、交通安全大ボラ吹き大会で最高賞を受賞した発表を録音したカセットテープを聴きました。この発表は、交通安全に関する会議等で活用され、交通事故防止に一役買ったということでした。また、鷹司よ悦様、他4名による歌と踊りがあり、大いに盛り上がり新年を祝う会に花を添えました。

歓談では、新年交賀会に相応しい和やかな中で、料理に箸を入れ、コップでビールを酌み交わす光景が随所に見られました。

なお、来年の新年交賀会は、様々な行事とのバッティングを避けるために、今年より1週間遅らせて、令和9年1月16日(土)に開催する予定です。

水沢地区振興会等 交流懇談会開催

1月30日(金)18時から、水沢グラインドホテルにおいて、水沢地区振興会・町連協等交流懇談会が開催されます。小野寺振興会長、佐藤センター長の2名が出席する予定です。

この会は、地域コミュニティ活動の推進や地域課題への対応に取り組んでいる各振興会・町連協が一堂に会し、情報や意見交換を行う場として開催されているものです。

地域振興功労者感謝状 橋本前会長贈呈される



1月15日(木)、胆沢文化創造センターにおいて、地区振興会長等研修会が開催されました。羽田地区振興会からは、小野寺茂美会長、佐藤和雪・菊池久美子両副会長、佐藤庄治郎事務局長(Ⅱ地区センター長)の4名が出席しました。

研修会に先立ち、令和7年度奥州市地域振興功労者感謝状贈呈が行われ、橋本欣也前振興会長に感謝状の贈呈がありました。これは、長年にわたり地区振興会の会長として地域コミュニティの先頭に立ち、協働のまちづくりを担うリーダーとして地域自治の推進に尽力され、その後退任された方を対象とするものです。橋本前会長は、平成31年4月〜令和7年4月まで、振興会規約による在任期間6年を全うされました。

なお、研修会では、「地域づくり活動の事例紹介」として、藤里、南都田両地区振興会から発表がありました。示唆に富んだ内容でした。

2025年(令和7年)12月16日(火曜日)

地域(22)

本年度のインスタントラーメン小学生レシピコンクール全国大会(日本即席食品工業協会主催)で、奥州市の羽田小4年の岩淵湊さんが入賞を果たした。

備蓄食のご飯を利用した韓国風おにぎり「チュモツパ」を提案。災害時でもおいしく簡単に食べられるアイデアが高い評価を受けた。

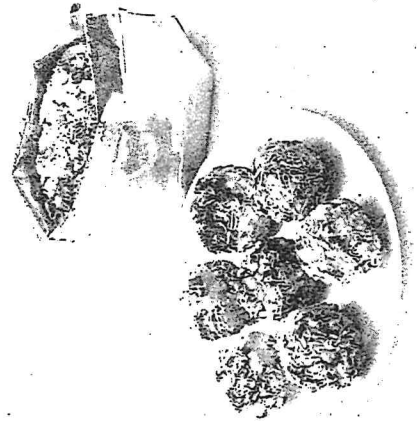
奥州・羽田小4年岩淵湊さん



身近なインスタントラーメンを素材としたレシピを募り、食育を推進するコンクール。小学4～6年を対象で、24回目の今回は全国206校から1万382作品の応募があった。

全国大会(11月、東京)には書類審査を通過した6地区の計12人が挑戦。北日本地区代表の岩淵さんは「ローリングストックでお

災害時もおいしく



ローリングストックを活用した「チュモツパ」(日本即席食品工業協会提供)

簡単 韓国風おにぎり

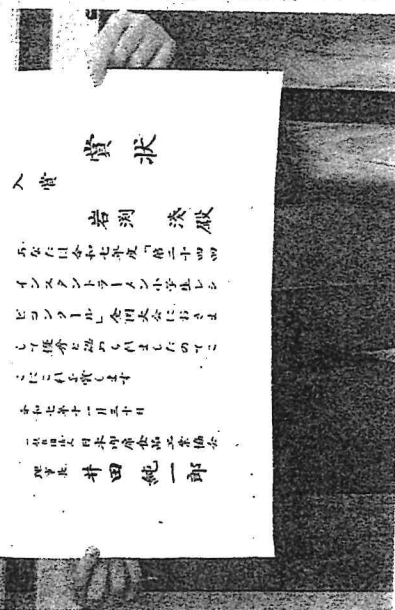
「チュモツパ」を出品した。砕いた即席ラーメンと、お湯や水注いで調理するアルファ化米を活用。こま

まめに買い置きし、古いものから消費してその分を買い足す備蓄方法。一つずつは食べきりサイズで、作品

名には災害時でも分け合いたく、多くの人が笑顔になるようにこの思いを込めた。

岩淵さんは「火や包丁を使わず、災害時にも役立つ簡単なレシピで、みんなにもう一度作ってもらいたい。(最優秀を目指して)再チャレンジしてみたい」と意欲をにじませた。

(北石雄輔十)



災害時でもおいしく食べられる一品を提案した岩淵さん

羽田小学校4年の岩淵湊さんは、即席小学生レシピコンクールにおいて、全国大会から、書類審査を通過した12人の1人として、且つ北日本地区代表として全国大会に出場し、入賞を果たしました。このことが評価され、羽田地区振興会表彰規定に基づき、「き」や「か賞」を受賞しました。

上の記事は、岩手日報令和7年12月16日付、岩手日報社の許諾を得て転載しています。